

Photo Yaotsu ～まちの話題～



懸命にボールを追いかける園児ら

「ドリブル・パス・シュート!!」

11月13日、蘇水公園多目的広場で、町内の全保育園年長児84名を集め、サッカー大会を開催しました。

この催しは、天候が安定しているこの時期に、町内全保育園合同で思い出づくりをということで開催されました。

当日は、園児らは、黄・緑・青・ピンクの4色のビブスで色分けされたチームに別れ、(財)岐阜県サッカー協会の4人の指導員のもと、息を弾ませながら夢中でボールを追いかけて、シュートが決まると、チーム全員で飛び上がって喜ぶ姿もありました。

日赤を通じて 義援金を寄付

11月14日、「昭和9年和知小学校入学同窓生」(代表 若宮正さん(右)・飯田大平さん(中央)・加木屋成さん(左)(ともに85歳))が日本赤十字社八百津町分区事務局を訪れ、東日本大震災で被災された方へと義援金46,532円を寄付しました。

同会は、毎年同窓会を開いていましたが、高齢化に伴い解散する運びとなり、最後に何か社会のために出来ることはないかと話し合い、今回寄付することとなりました。

この義援金は事務局を通じ、日本赤十字社へ寄付されます。

その他、地元の子どもたちのためにと和知小学校へ10万円寄付されました。



昭和9年和知小学校入学同窓生代表ら

「福地そば」の会収穫祭

11月17日、八百津町福地で地元有志でつくる「福地そば」の会(代表 葛生良一さん)が、今年8月に種まきをした「高嶺ルビー」と「信濃一号」のそばの実の収穫祭を行い、町内外から約40人が参加しました。

同会は、少子高齢化が進む福地で、休耕田を活用し地域を活性化しようと、紅色の花を咲かせるそば「高嶺ルビー」と白色の花を咲かせる「信濃一号」の栽培を始めました。

今年から、美濃加茂市と加茂郡内の市町村が進めるみのかも定住自立圏つなげる事業に認定されました。

当日は雨が降り、そばの実を収穫する体験は出来ませんでしたが、あらかじめ会員が収穫した白そば「信濃一号」を使い、そば打ち体験と試食会が行われました。



そば打ち体験をする参加者ら